

## 会 告

## 第 87 回講演大会講演募集案内

申込（原稿同時提出）締切り 昭和49年 1月21日（月）

本会は第87回講演大会を昭和49年4月2日(火)、3日(水)、4日(木)の3日間日本大学生産工学部(千葉県習志野市泉町1-2-1)において開催することになりました。下記要領により講演募集をいたしますので、奮つてご応募下さるようご案内いたします。

講演希望者は昭和49年1月21日(月)までに申込用紙と講演概要原稿を提出して下さい。

## 講演ならびに申込要領

1. 講演内容 鉄鋼の学術、技術に直接関連あるオリジナルな発表。  
(設備技術、I Eなどに関する発表を歓迎いたします)
2. 講演時間 1講演につき講演15分、討論5分
3. 講演前刷原稿
  - 1) 原稿は目的、成果、結論が理解しやすいよう簡潔にお書き下さい。
  - 2) 設備技術に関する原稿には計画にあつての基本方針、特色、成果等を必ず盛込んで下さい。
  - 3) 商品名等は原則としてご遠慮願います。
  - 4) 謝辞は省略して下さい。
  - 5) 原稿枚数は原則として所定のオフセット用原稿用紙(1600字詰)1枚とします。しかし内容的に止むを得ない場合は2枚までを認めます。(いずれも表、図、写真を含む)原稿が2枚にわたり執筆された場合には編集委員会で査読のうえ1枚にまとめなおし願うことがありますのであらかじめご了承ください。
  - 6) 原稿はクリーム頁末添付「講演概要原稿の書き方」をご覧のうえ、タイプ印書あるいは黒インクまたは墨を用い手書きとして下さい。
  - 7) 原稿用紙は(次ページ)のように有償頒布いたしております。
4. 講演申込資格 講演者は本会会員に限ります。非会員の方で講演を希望される方は、所定の入会手続きを済ませたうえ、講演申込みをして下さい。また共同研究者で非会員の方も入会手続きをされるよう希望いたします。
5. 講演申込制限 講演申込みは1人3件以内といたします。
6. 申込方法 本誌添付の講演申込用紙に必要事項を記入の上、講演前刷原稿とともにお申し込み下さい。
7. 申込用紙の記載について
  - 1) 申込用紙は(A)、(B)とも太字欄をのぞき楷書でご記入下さい。(クリーム頁末つづり込み)
  - 2) プログラム編成上の参考といたしますので、「講演分類欄」に講演内容が、次ページ講演分類のいずれに該当するか、番号でご記入下さい。
  - 3) 講演者には氏名の前に○印を、また研究者氏名にはローマ字読みを付して下さい。
  - 4) 講演要旨は、情報管理のための文献検索カードに利用いたしますので講演内容が明確に把握できるようおまとめ下さい。
8. 申込みの受理 下記の申し込みは理由のいかんにかかわらず、受付はいたしませんので十分ご注意下さい。
  - 1) 所定の用紙以外の用紙を用いた申込
  - 2) 必要事項が記入されていない申込
  - 3) 単なる書簡または葉書による申込ならびに電報、電話による申込
  - 4) 文字が読みづらいもの、印刷効果上不適当なものと認められるもの
9. 申込締切日 昭和49年1月21日(月)17時着信まで  
申込用紙、講演前刷原稿を同時提出のこと。
10. 申込先 100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階  
(社) 日本鉄鋼協会 編集課

## 講演分類

製 鉄			製 鋼			加 工						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
製鉄基礎	原料・燃料	高炉製鉄	特殊製鉄	フェロアロイ	製鉄耐火物	製鋼基礎	溶解・精錬	造塊	製鋼耐火物	塑性加工	熱処理	表面処理・防食
加 工			性 質									
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
鑄造	粉末冶金	溶接	金属物理	金属組織	鋼の性質	鉄鋼材料	鑄鉄・鑄鋼	分析	試験・検査技術	計自動制御	IEその他	その他

## オフセット用原稿用紙有償頒布について

講演大会における講演前刷原稿は、所定のオフセット用原稿用紙を用いお書きいただいておりますが、下記により有償頒布いたしますのでお知らせいたします。

講演申し込みは別掲のごとく前刷原稿を同時に提出することになっておりますので、講演発表ご希望の方は締切日より 20 日以上余裕をもつて購入手続をとられるようお願いいたします。

記

1. 頒布料金 1 枚 5 円 (頒布の枚数は下記のとおり限定いたします。なお料金は送料込)

5 枚 95 円, 20 枚 215 円, 40 枚 375 円  
 10 枚 135 円, 25 枚 270 円, 50 枚 500 円  
 15 枚 190 円, 30 枚 295 円

100 枚以上は小包となりますので係までお問い合わせ下さい。

- 2 申込方法 ①オフセット用原稿用紙, ②枚数, ③送付先明記のうえ, ④料金(切手でも可)を添えお申し込み下さい。

- 3 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 日本鉄鋼協会 編集課

## 会費納入についてのお願い

昭和 49 年分会費の納入期がまいりました。会費は毎年 12 月に 1 年分を前納するか、または毎年 12 月および 6 月の 2 回に分けて、おのおの 6 カ月分を前納していただくことになっておりますので、別送の郵便振替用紙にてお払込み下さいますようお願いいたします。

会員団体所属の会員にあつては幹事宛お払込下さい。

記

	会費年額	入会金
正会員	4000 円	400 円
学生会員	2000 円	200 円
外国会員	4500 円	450 円

宛先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階  
 社団法人 日本鉄鋼協会 郵便振替口座 東京 193 番

## 昭和 49 年秋季 (第 88 回) 講演大会討論会

## 討論講演募集のお知らせ

昭和 49 年秋季 (第88回) 講演大会は 昭和 49 年 11 月 3 日, 4 日, 5 日の 3 日間近畿大学で開催されますが, そのさい開催されます討論会講演を下記により募集いたしますので奮つてご応募下さるようご案内いたします。

## 1. 討論会テーマ

## 1) 炉底侵食の機構と対策 座長 鈴木 駿一

高炉炉底侵食は高炉の寿命を決定する最も重要な因子であります, その機構, 対策にはまだ不明確な問題が残されています。

高炉炉底の侵食(レンガの変質, 侵食反応, 亀裂, その他) およびその対策(レンガ積構造, 材質および型, 炉底冷却方法, 操業, 侵食状況の推定, その他) について討論し, 今後の発展の足がかりとしたいと考えます。

## 2) 連続鑄片の品質と内部性状 座長 郡司 好喜

連続鑄造の技術は日一日と向上しほぼ満足すべき水準に達したと考えられているが, 本質的な問題については不明な所がきわめて多いと言えよう。今回は, 連続鑄片の内部欠陥(中心偏析, 非金属介在物, 内部割れなど)の生成原因とその減少対策について討論会を開きます。基礎的な研究のみならず技術上の諸問題についての最近の研究結果を中心にして討論を行ない, 今後の発展に役立てたいと思っておりますので奮つて御応募下さい。

## 3) 鉄鋼の変形能 座長 田中英八郎

工業生産上重要な事項であるにもかかわらず, 従来主として経験の積み重ねで推移してきた「変形能」の問題も最近ようやく科学としてとりあげられるようになり, テストの結果の定量的応用もはじまっている。しかし, 問題の複雑さから, 評価法, 破壊の機構, 加工中の材料内部の状態などに関して多くの異なった立場があり, 種々の測定結果の現場的検証も必要とされている。これらの問題について, 力学的, 材料学的あるいは生産現場的立場から多面的な討論を期待する。

付 薄板の成形性についての討論も歓迎しますが, 今回はそれ以外の分野を中心にしたしたいと思います。

## 4) オーステナイト系ステンレス鋼の応力腐食割れの機構 座長 大谷南海男

応力腐食割れは最近問題になっている鉄鋼の環境脆化現象のなかでも, 特に工業的に重要な研究課題である。しかし, これに関係する因子は多岐にわたるので, 今回はオーステナイト系ステンレス鋼における割れの機構を中心に, つぎの諸点について討論を行ないたい: (1)材料側因子——割れ先端では何が起こっているか。つまり破壊力学的解釈, 塑性変形とアノード溶解との関係, (2)環境側因子——化学種の吸着, カソード反応, 表面皮膜の性質, 形成と破壊の難易など。

## 5) 鉄鋼の靱性と転位論, その基礎と応用 座長 橋口 隆吉, 荒木 透

鉄鋼の固溶強化, 分類強化, 変態強化などの延性, 靱性, 破壊現象への影響の転位論的解釈に関する基礎と応用の総説と研究発表。定量的に扱えない複雑な材料の定性的な議論でもよい。

## 2. 申込締切日 昭和 49 年 2 月 26 日 (火)

## 3. 申込方法 本誌綴込みの申込用紙(クリーム頁末)に必要事項ならびにアブストラクトをお書きのうえお申し込み下さい。

## 4. 討論講演の採否 討論講演としての採否は, 前記ご提出のアブストラクトにより検討のうえ決めさせていただきますので, あらかじめお含みおき下さい。

## 5. 講演前刷原稿締切日 昭和 49 年 5 月 31 日 (金)

討論講演として採用された方は, 本会所定のオフセット原稿用紙 4 枚以内(表, 図, 写真を含め 6700 字)にタイプ(12ポ)印書あるいは黒インクまたは墨で楷書で明りようにお書きのうえ, ご提出下さい。

## 6. 講演テーマ・講演者の発表 「鉄と鋼」第 60 年第 9 号(昭和49年 8 月号)にて発表いたします。

## 7. 講演内容の発表 「鉄と鋼」第60年第10号(9月号)に講演内容を掲載いたします。

## 8. 討論質問の公募締切日 昭和 49 年 9 月下旬

前記第10号掲載の講演内容をご覧のうえ, 質問対象講演を明記のうえ, 本会編集課宛ご送付下さるようお願いいたします。

申込先: 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階  
日本鉄鋼協会編集課 Tel. 03-279-6021 (代)

## 北陸支部学術講演会(研究発表)講演募集案内

鉄鋼協会北陸支部、金属学会北陸信越支部では、下記により学術講演会研究発表を開催することになりましたので多数御応募下さいます様御案内申し上げます。

時：昭和49年2月8日(金)

所：教育会館(新潟県上越市)

応募方法：葉書にて講演題目、研究者氏名、勤務先、スライドの要、不要を明記の上来る昭和48年12月10日(月)までに、下記へ御申込み下さい。尚、講演者に○印を付して下さい。  
申込者にはオフセット用原稿用紙をお送りしますので、規定の様式に従って概要原稿を作成し、昭和49年1月15日(火)迄に下記宛お送り下さい。

申込先：(933) 富山県高岡市向野本町 300 番地 日本曹達(株)高岡工場内  
日本鉄鋼協会北陸支部 電話 高岡 0766 (23) 2001

なお、昭和49年2月8日(金)には特別講演会と懇親会、また昭和49年2月9日(土)には見学会を行います。  
懇親会(会費1,000円、場所未定)及び見学会(会費500円、日本ステンレス(株)直江津製造所、他1社)に御参加の方は、昭和49年1月25日迄に葉書にて氏名、勤務先及び職務を記入の上、下記宛御申込み下さい。

申込先：(942) 新潟県上越市港町2丁目12番1号  
日本ステンレス(株)直江津製造所 齊藤弥太郎 電話 上越 0255 (43) 3131

## 「固体質量分析法の鉄鋼業への応用」シンポジウム

主催：鉄鋼基礎共同研究会固体質量分析部会 協賛：イオンマイクロアナライザー研究会、  
イオンビームアナリシス研究会

期 日 昭和49年2月25日(月)、26日(火) 9:30~17:00

場 所 学士会館(神田一ツ橋) 電話 03-292-5931

2月25日(月) (9:30~12:00)

開会挨拶	部会長	須藤恵美子
固体質量スペクトル分析、その発展と諸問題	京大理	榎田 勉
表面物理分析法について	電総研 中山 勝矢	小野 雅敏
固体質量分析装置(スパーク形とイオン衝撃形)による微量分析	松下電器・中研	小西 文弥
(13:00~17:00)		
スパークイオン源固体質量分析法の現状と問題点	新日鉄・基礎研	山口 直治
スパークイオン源固体質量分析法における相対感度	大同製鋼・中研	柳原 和夫
スパークイオン源固体質量分析法による溶液および粉末試料の分析	三菱電機・中研	甲斐潤二郎
スパークイオン源固体質量分析法による金属中のガス成分分析	東大工	古谷 圭一
スパークイオン源固体質量分析計における電気検出法	日本電子	青山 鉄美

2月26日(火) (9:30~12:00)

イオンマイクロアナリシスにおける定量分析の基礎的問題	阪大工	志水 隆一
イオンマイクロアナライザーによる深さ方向の分析	日立・中研 田村一二三	津山 齊
イオンマイクロアナライザーの鉄鋼局所分析への応用	住金中研	白岩 俊男
イオンマイクロアナライザーによる鉄鋼元素分析	川鉄・技研	鶴岡 一夫
(13:00~16:00)		
イオンマイクロアナライザーによる金属中の水素分析	東工大	染野 檀
イオンマイクロアナライザーによる鉄鋼の破面および粒界の分析	新日鉄・基礎研	佐藤 公隆
イオンマイクロアナライザーによるステンレス鋼表面および酸化皮膜の解析	早大・理工	中山 忠行
イオンマイクロアナライザーの半導体への応用	茨城・通研	長井 一敏

〔総合討論〕 司会 京大理 榎田 勉

(講堂の題目および演者に多少変更があるかも知れませんので予め御了承下さい)

参加費 無 料

シンポジウム論文集 1部 1000円(送料共) 希望者は代金を添えて、2月5日までに下記へお申し込み下さい。(以後は当日会場売り)

申込先 東京都千代田区大手町1-9-4 日本鉄鋼協会 〒100  
Tel. 03-279-6021

## 鉄鋼基礎共同研究会「強度と靱性部会」シンポジウム (暫定プログラム)

—— 鋼の微視組織と強度・靱性 ——

期 日 昭和 49 年 2 月 22 日 (金) 10:00~17:00

場 所 農協ビル 8 階第 2 大会議室

10:00~	開会挨拶「強度と靱性部会」	部会長 荒木 透
10:05~11:00	「共析鋼の $\delta$ 粒度 $\delta$ と破壊特性との関係」	新日鉄・基礎研究所 高橋 稔彦, 南雲 道彦
11:00~12:00	「2, 3 のマルテンサイト鋼の強靱性」	東京工業大学 田中 実
—— 昼 食 休 憩 ——		
13:00~14:00	「マルテンサイト変態誘起塑性に関する研究」	京都大学 田村 今男
14:00~15:00	「構造用鋼の疲れ破壊の材料強度学的研究」	東北大学 横堀 武夫
15:00~16:00	「ベイナイト・マルテンサイト混合組織の脆性破壊発生および伝播停止特性」	住友金属・中央技術研究所 邦武 立郎, 寺崎富久長, 大森 靖也, 岩永 寛, 川口 喜昭
16:00~17:00	「オーステナイトの TiN による細粒化と靱性」	新日鉄・製品技術研究所 金沢 正午, 中島 明, 岡本健太郎, 金谷 研

### 前刷と参加申込みについて

シンポジウム前刷を用意致します。(1部 600 円) 希望者は通信先氏名(勤務先, 職名も記入して下さい)シンポジウムへの出欠, 前刷希望部数を明記の上, 代金を添えて, 1 月 31 日迄に日本鉄鋼協会技術部八子一了へお申し込み下さい。

## 粉碎および防塵に関するシンポジウム

主催: 日本材料学会 共催: 日本鉄鋼協会, 石灰石鉱業協会, 粉体工学研究会, 窯業協会, セメント協会, 浮選研究会, 日本鉱業会関西支部, 化学工学協会関西支部

期 日 昭和 49 年 2 月 20 日(水)~21 日(木) 9:00~17:00

会 場 日本イタリヤ京都館(京都市左京区吉田牛ノ宮町 4) 市電東一条下車西入  
プログラム

<p>第 1 日 (2 月 20 日(水))</p> <p>9:00 粉碎現象の岩石力学的考察 京大工 岡 行俊</p> <p>9:50 粉碎理論 名大工 神保 元二 (休 憩 10 分)</p> <p>10:40 材料の被粉碎性 徳大工 松居 国夫</p> <p>11:20 多段粉碎の整粒効果 京大工 向井 滋 (昼 食 60 分)</p> <p>13:00 製鉄工業における粉碎 神戸製鋼 西田礼次郎</p> <p>13:45 セメント工業における粉碎 小野田セメント 小沼 栄一</p> <p>14:30 金属鉱業における粉碎 三井金属鉱業 石須 章 (休 憩 15 分)</p> <p>15:30 プラスチックの粉碎 細川粉体工学研 横山 藤平</p> <p>16:15 超微粉碎 同志社大工 奥田 聡</p>	<p>第 2 日 (3 月 21 日(木))</p> <p>9:00 粉碎速度論とその応用 北大工 田中 達夫</p> <p>9:45 湿式分級 京大工 吉岡 直哉 (休 憩 10 分)</p> <p>10:40 乾式分級 同志社大工 三輪 茂雄</p> <p>11:25 集塵フード 大阪府大・短大 林 太郎</p> <p>(昼 食 50 分)</p> <p>13:00 サイクロン 鈴鹿工専・工化 木村 典夫</p> <p>13:45 スクラバー 大阪府大・工 吉田 哲夫</p> <p>14:30 バッグフィルター 栗本鉄工 伊東 良太</p> <p>15:30 電気集塵 三菱重工(交渉中)</p> <p>16:15 集塵装置の選定 京大工 井伊谷鋼一</p>
--	--

参加費 (講演集代を含む) 5000 円

申込要領 参加希望者は氏名, 勤務先, および連絡先を明記の上, 参加費を添えて, 2 月 9 日(土)までに次にお申し込み下さい。

申込先 606 京都市左京区泉殿町 1 番地の 101 日本材料学会

## 第9回 腐食防食懇談会

### 主題 装置工業の防食対策

主催：日本材料学会

共催：日本鉄鋼協会，化学工学協会，火力発電技術協会，近畿化学工業会，色材協会，石油学会，電気学会，電気化学協会，学振97委員会，日本化学会，日本金属学会，日本機械学会，日本造船学会，日本溶接学会，ステンレス協会，樹脂ライニング工業会，溶接学会

期 日 昭和 49 年 3 月 7 日(木)，8 日(金)

会 場 大阪科学技術センター 401 号室

大阪市西区うつぼ 1 丁目 118 地下鉄四ツ橋線本町下車北 150m

第 1 日 (3 月 7 日)

9:00 腐食防食の概要 名工大 日根 文男

11:00 新製品紹介(1) 防食材料

1:00 金属材料の腐食と要因 住金中研 小若 正倫

3:00 腐食環境とその要因 味の素中研 鈴木 紹夫

第 2 日 (3 月 8 日)

9:00 防食設計と防食管理 近大理 木島 茂

11:00 新製品紹介(2) 測定機器，試験機器

1:00 腐食事故の調査 三菱神研 柴 幸雄

3:00 懇談 装置工業の防食対策

参加料 共催学協会会員 9,000 円 非会員 14,000 円 (テキスト含)

申込期限 昭和 49 年 2 月 15 日 (金) 定員 100 名

申込方法 氏名，所属，連絡先，所属学協会名を記し，参加料を添えて 日本材料学会懇談会係 606 京都市左京区吉田泉殿町 1 の 101 Tel. (075) 761-5321 へお申込み下さい。

## 昭和 49 年度塑性加工春季講演会 (第 5 回)

主催：日本塑性加工学会，日本機械学会

協賛：軽金属学会，高分子学会，精機学会，日本金属学会，日本伸銅協会，日本材料学会，日本鉄鋼協会 (予定)

開催日：昭和 49 年 5 月 14 日(火)，15 日(水)，16 日(木)

会 場：日本青年館 (新宿区霞ヶ丘町11)

講演申込締切：昭和 49 年 2 月 9 日 (土)

講演申込要領：はがきに横書きで「昭和49年度塑性加工春季講演会申込」と標記し，下記の要領でお申込み下さい。

①題目および分野別番号，②概要(50字以内)，③所要時間(20分以内)，ただし当学会で調整することがあります。④スライドの有無，⑤所属学会名，会員資格，氏名(連名の場合は講演者に\*印を記すこと)，⑥勤務先，⑦通信先

申 込 先：日本塑性加工学会 (〒106 東京都港区六本木 5-2-5 トリカツビル内)

講演論文集：オフセット印刷，1292字詰原稿用紙 4 枚 (図表を含む)，刷上り 4 ページ相当，詳細執筆要領・原稿用紙は後日講演者にお送りします。

論文集原稿締切：昭和 49 年 3 月 16 日 (土)

分野別番号：1. 理論および弾塑性解析 2. 計測および材料試験 3. 材料および挙動 4. 工具，5. 潤滑  
6. 加工機械，7. 圧延 8. 押出し 9. 鍛造 10. 引抜き 11. せん断 12. 板材成形，  
13. 転造 14. 矯正 15. 表面加工 16. 高速加工 17. 高圧加工 18. 接合 19. プラスチック  
20. ロール成形 21. スピニング 22. その他

## 第 6 回真空科学国際会議・第 2 回固体表面国際会議

### Preliminary Program の配布

上記国際会議は来る 1974 年 3 月 25～29 日，京都国際会館において開催されますが，この程 Preliminary Program ができましたので，入手御希望の方は下記にお申込下さい。

113 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学工学部物理工学科 富永五郎

TEL 03-812-2111 ext 6272

## 固体電解質利用に関する最近の進歩シンポジウム

主催：日本金属学会第Ⅰ総合分科 協賛：電気化学協会，軽金属学会，日本鋳業会，日本鉄鋼協会，窯業協会

時：昭和49年1月28日(月)9:25~17:00

所：国立教育会館大会議室(東京都千代田区霞が関3-2-3 電話 03-580-1251)

- |       |                           |            |                                       |                    |           |
|-------|---------------------------|------------|---------------------------------------|--------------------|-----------|
| 9:30  | 1. 電気化学システムにおける固体電解質の位置づけ | 横浜国大 高橋 正雄 | 13:50                                 | 5. 非鉄製錬技術への応用の可能性  | 阪大工 幸堀 善作 |
| 10:20 | 2. 導電セラミックスの物性とその工業的利用    | 東大工 柳田 博明  | 14:40                                 | 6. 鉄鋼製錬現場での酸素の迅速分析 | 新日鉄 佐伯 毅  |
| 11:10 | 3. 物理化学測定における利用の最近の試み     | 東工大 後藤 和弘  | 15:30                                 | 7. 総合討論            | 司会 増子 昇   |
|       | 一昼 食一                     |            | ○前刷1部 300円(送料共)<br>(企画世話人 増子 昇, 後藤和弘) |                    |           |
| 13:00 | 4. 酸素以外の成分の活量測定           | 京大工 森山徐一郎  |                                       |                    |           |

## 日本学術会議有権者登録について

日本学術会議第10期会員選挙が昭和49年11月25日に行なわれます。有権者名簿の登録について下記のごとく連絡がありましたのでお知らせいたします。

### 1. 前回(第9期, 昭和46年)の選挙の有権者の方へ

前回の選挙の有権者については、前回提出のカードにより、本年資格審査が行われました。これに関し、日本学術会議中央選挙管理会から登録用カードを再提出されるよう通知のあつた方以外の方は、すべて引続き、有権者名簿に登録されますから、改めて登録用カードを提出する必要はありません。

ただし、前回の登録における所属以外の部又は専門で今回の登録を求めようとする方は、登録のしなおしをする必要がありますから、様式第2の「所属部又は専門変更届」により、登録用カード用紙を請求してください。

### 2. 今回(第10期, 昭和49年)の選挙に有権者となることを希望される方へ

(1) 今回の選挙に新たに有権者となることを希望される方で、大学・研究機関等に所属される方は、中央選挙管理会から大学・研究機関等に対して「登録用カード用紙請求者名簿」の提出方を依頼いたしましたから、なるべく所属の大学・研究機関等から提出の名簿によつて登録用カード用紙を請求してください。

なお、名簿によつて請求される場合は個人からの請求は不必要ですから、大学・研究機関等と個人の両方から重複して請求しないように、特に注意してください。

(2) 新たに有権者となることを希望される方で、大学・研究機関等に所属しているが大学・研究機関等から提出した「登録用カード用紙請求者名簿」にカード用紙請求者として氏名を記載されなかつた方は、様式第1により個人で登録用カード用紙を請求してください。

### 3. 登録用カード用紙の送付および提出について

登録用カード用紙は、請求あり次第「登録用カード用紙請求者名簿」提出の大学・研究機関等に対しては、一括して送付します。また、個人で請求の場合は、直接、請求人あてに送付します。

その際、第10期会員選挙説明書及び登録用カード用紙提出用の封筒を同封いたします。登録用カード用紙に所要の事項を記入の際は、選挙説明書の「登録用カード記載上の注意」を十分お読みになつたうえで記入してください。また、登録用カード提出の場合は、提出用の封筒を使用してください。

第10期会員選挙のための登録用カードの受付期限は、昭和49年3月31日ですから、同日までに中央選挙管理会に必着するように提出してください。

なお、昭和49年4月1日以降に到着した登録用カードは、次回(第11期, 昭和52年)会員選挙の登録用カードとして中央選挙管理会で保管します。

### 4. 有権者等の異動届について

有権者は氏名、住所(住居表示の変更を含む)、本籍、勤務機関及び職名、勤務地等のいずれかに異動があつたとき、又は博士の学位を取得した場合にはそのつどすみやかに、様式第3により、「有権者異動届」を中央選挙管理会に提出してください。これを怠ると有権者の権利を行使できないことがあります。

また、新たに有権者となることを希望される方で、登録用カードを提出し、その後に上記の異動があつた場合も異動の届を励行してください。

なお、有権者で本人が死亡した場合は、その旨を、遺族又は関係者から届け出てください。

登録用カード用紙請求先、異動届登録用カード提出先

日本学術会議 中央選挙管理委員会

〒106 東京都港区六本木 7-22-34 (電(03)403-6291)